広域避難場所の指定が見直されました

問防災課(☎5723−8176、FAX5723−8725)

都震災対策条例に基づき、避難場所・地区内残留地区の指定見直し(第9回)が行われました。

これを受け、区内の広域避難場所などが、次のとおり変更となりました。詳細は、区HP(コード❶)をご覧いただくか、お問い合わせください。

広域避難場所(※1)である「中目黒公園一帯」の指定区域が、拡大されました

現在指定されている区域に加え、「中目黒公園一帯」の指定区域に目黒清掃工場緩衝緑地が追加されました。

※1 広域避難場所とは

地域避難所周辺の火災の延焼・拡大やふく射熱から身を守るために、さらに避難が必要になった場合に避難する場所です。地区内残留地区を除き、原則として住所により避難先が指定されています。

「青葉台、目黒地区」が、地区内残留地区(※2)に指定されました

青葉台1～4丁目、上目黒1丁目、中目黒1～2丁目が、「青葉台、目黒地区」として新規指定されました。この地区は、震災時に火災が発生したときに広域的な避難の必要がないため、広域避難場所が割り当てられていません。

※2 地区内残留地区とは

地区の不燃化が進み、万が一火災が発生しても、地区内に大規模な延焼火災のおそれがなく、広域的な避難の必要がない区域です。

必ず一度は確認を！

見直し後の避難場所などを示した地図(23区別避難場所等指定図)などは、9月1日から、都HP(コード❷)でご覧になれます。

No.13 めぐの日記 Megu's Diary

今月のおすすめスポット
円融寺の井戸
(碑文谷1−22−22)

お寺の境内を散策してたら、古い手押し井戸を発見。まだ現役なのかなと近づいてみたら、青いプレートに「震災時協力指定井戸」？スマホで検索すると、震災などの時に利用できる井戸なんだって。定期的に水質検査もしているらしい。いざというときのために、家の近くにあるか調べておこうかな。

めぐのプロフィール
区内に住むインテリアコーディネーター。休日に目黒のまちを訪ね歩き、おすすめスポットを日記につづっている。

震災時協力井戸

災害時の生活用水や初期消火用の水(飲料は不可)の確保を目的に、区内170カ所の井戸を、震災時協力井戸として指定している。設置場所は、防災マップ(コード❸)に掲載。

※井戸水の提供は、緊急時を目的として善意で行われています。所有者の承諾を得たうえで、マナーを守って利用してください

区内のおすすめスポットなどを日記形式で紹介する「めぐの日記」。これまで掲載した情報は、区HP(コード❹)でご覧になれます。
問広報課区報係(☎5722−9486、FAX5722−8674)

防犯・防災クイズ

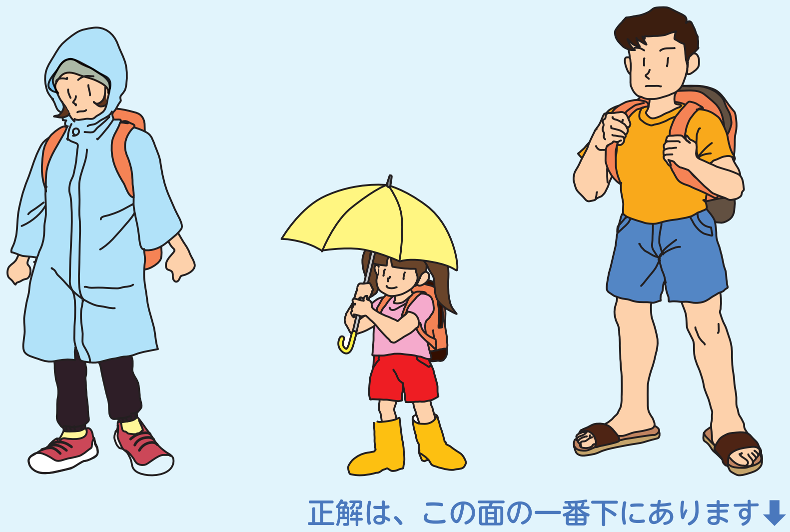
問題！

役立つ防犯・防災の知識をクイズで紹介。
いつもの備えを、もしものときの安心につなげよう。

風水害編

Q　1～3のうち、風水害時の避難の服装として、正しいものはどれでしょう？

1 レインウエアと運動靴
2 傘と長靴
3 半袖半ズボンとサンダル



正解は、この面の一番下にあります⬇

問防災課(☎5723−8700、FAX5723−8725)

高 脳に効く！ウォーキング

問介護保険課介護予防係
(☎5722−9608、FAX5722−9716)

運動を週1回以上仲間と継続することが、介護予防・フレイル(虚弱)予防に効果があるといわれています。講座で出会った仲間とウオーキンググループをつくり、修了後は自分たちで活動継続を目指します。まずは体験・説明会にお申し込みください。詳細は区HP(コード❺)をご覧いただくか、お問い合わせください。

会場	特別養護老人ホーム目黒中央の家(中央町2−32−23)	東山住区センター(東山2−24−30)
日時	〈体験・説明会〉9月14日(水)13：30～15：00	〈体験・説明会〉9月15日(木)9：30～11：00
	〈コース〉9月28日～5年1月18日(11月23日を除く)の毎週水曜日13：30～15：30(全16回)	〈コース〉9月29日～5年2月2日(11月3日、12月29日、1月5日を除く)の毎週木曜日9：30～11：30(全16回)
定員	12人(先着)	15人(先着)
申込先	株式会社サルーク(☎3760−2986)。月～金曜日9：00～18：00(祝・休日を除く)受け付け	スポーツクラブルネサンス三軒茶屋24(☎070−4238−8125)。月～土曜日10：00～19：00(祝・休日を除く)受け付け

対60歳以上で、医師から運動を止められていない区内在住者(要介護1～5のかたを除く)
内介護予防の知識や認知症予防に効果的なウオーキング技術の習得、活動グループづくりと歩くコースなどを参加者で考え、実践する
申9月1日から、電話で、各申込先へ

防犯・防災クイズの答え　A →1　避難をする際は、ケガをしないよう、肌を露出せず、両手が空くような服装が望ましいです。長靴は中に水が入ると動きにくくなり、危険です。履きなれた運動靴などを選びましょう。がれきや割れたガラスなどから足を守るため、底がしっかりしている靴がおすすめです。